

令和4年度 認知症対応型共同生活介護 グループホーム たんぽぽ 事業計画

1、法人基本理念

「のんびり」 「一緒に」 「楽しみながら」

基本方針

入居者様お一人お一人が、ご自分のペースでゆったりと過ごして頂き、入居者様や職員そして施設にかかわる全ての方々と沢山の笑顔の時間を共有できる施設を目指します。

2、援助方針

- ・ 入居者様一人ひとりの生活リズムにあわせ、ゆったりとした毎日が過ごしていただける施設を目指します。
- ・ 入居者様が安心して生活が送れるように、職員は感染予防対策を徹底します。
- ・ 入居者様の「楽しい」「嬉しい」と思える瞬間を大切に、安心して生活して頂ける環境作りを目指します。
- ・ ケアにあたる職員自身も健康に気を付け、生き生きとした毎を送り、より良いケアが出来る様に心がけます。

3、令和4年度の重点目標

入居者様と職員が共に過ごす時間を大切にします

- ・ 職員の体調の不安やストレスが軽減し、仕事への楽しさややりがいを持てる様にします
- ・ 入居者様と職員と一緒にゆったりと過ごす事で、入居者様が安心して過ごす事ができ、話しやすい環境作りを行ないます。

感染予防対策の強化

- ・ マスク着用やアルコール消毒の徹底など、感染予防に配慮します。
- ・ 感染対策委員会による感染症対策マニュアルやBCPの作成、研修等の実施を行ないます。
- ・ 入居者様の健康状態を常に留意し、体調の変化を見逃さない様にします。

災害に強い施設作りへの取り組み

- ・ 自然災害に備えBCPの作成・訓練を行ないます。
- ・ 地域の避難訓練や行事に参加し、より地域との交流がもてる様にします。
- ・ 施設で行なう救命訓練や地震体験車等を実施する際は地域への声かけを行ない共に訓練が行える環境作りを目指します。

4、 支援内容

(1) 入居者様への援助

① ケアプランの作成とケアの統一

- ・ 入居者様個人のケアカンファレンスを定期的を開催します。
- ・ 作成したケアプランに基づき、入居者様個々の目標や解決すべき課題を職員が共有し、1day シートを活用し統一したケアを行ないます。
- ・ 入居者様の状態の変化に合わせ、臨機応変にプランを見直し変更を行ないます。

② 『自立支援』を念頭においた援助

- ・ 入居者様の身体機能維持の為、ご本人の残存機能を活かし日常生活リハビリに取り組み機能維持が出来るよう支援します。
- ・ 生活の中で入居者様の役割を見つけ、生活意欲の向上となる様支援します。

③ 感染予防対策

- ・ 年間を通し感染予防に繋がる対策の実行を継続し施設内での感染拡大を防止すると共に予防に努めます。

④ 緊急時対応の習得

- ・ 年1回救急救命講習を施設内で実施することにより、全職員が消防署の指導を受ける機会を設け、いざという時の対応に備えるようにします。
- ・ 夜間等利用者の体調急変時への対応が全職員戸惑い無く行えるように、入居者様の基本情報や主治医、訪問看護の連絡先等周知します。

⑤記録の充実

- ・ 介護計画書に基づいた記録や日常の様子が客観的記録となるようにします。
- ・ 開示義務やかかわりの証拠となる事も踏まえ、的確で伝達性にすぐれた記録が出来るように努めます。

⑥健康管理

- ・ 日々の健康管理はもとより昨日との違いに気付き、病気や体調の変化の早期発見により治療が遅れない様にします。
- ・ 業務に支障を来たすことがないよう、職員1人ひとりが自己健康管理することに努めます。

(2) 食事

① 自分で作ることの喜びを感じる事や過去を懐かしむ事が出来る様、手作りレクの時間を設け楽しく過ごせる時間を提供出来るよう心がけます。

② 自分の食べたい物を選んで食べる事が出来る機会を設け利用者様の楽しみに繋がる様な時間が作れるように努めます。

③ 季節や昔ながらの行事等を感じていただけるような食事やおやつを提供を行ないます。

(3) 入居者様の生活の活性化

- ・ ユニットごとに職員1人ひとりが発想や経験を活かしながら毎日が楽しく過ごせる様に工夫した時間を提供します。
- ・ 日常の家事活動により生活意欲の向上に繋がります。
- ・ 入居者様の体調や意向の変化に気を付けて見守ります。
- ・ 個々の生活リズムや意向に沿った過ごし方が出来る様に支援します。

6、 防災計画

(1) 定期的な消防訓練の実施および消防設備の点検

- ① 自主訓練を含め、年間3回以上の訓練を行ないます。
- ② 年1回救急救命訓練を行ないます。
- ③ 巨大地震発生時の避難方法について、避難経路等の全員周知に努めます。
- ④ 毎月、館内及び周辺の消防設備等の自主点検。
- ⑤ 専門業者による定期的保守点検の実施。(非常通報装置・火災報知機・スプリンクラー・その他の自動制御装置)
- ⑥ 夜間を想定した訓練を行ないます。

7、職員会議・委員会・職員研修 等について

(1) 会議

- ・ 毎月の会議時間を利用してサービス計画内容に基づいた支援の実施状況や問題点から、計画書の見直しを行い適切な支援が実施できるようにします。
- ・ 施設の問題点や改善点等、働く一人ひとりが意見を出せる場所とし、みんなで考える働きやすい施設をめざします。

(2) 委員会

① 環境美化委員会

- ・ 施設内外の美化に努め、安全・快適に過ごせるようにします。
- ・ 季節を感じられる環境作りを行ないます。
- ・ エアコンの掃除や施設周辺の草引き等季節を考慮し年間計画を作成します。
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します。

(委員は計画実施の進行を行い、掃除等の実施については全スタッフで行ないます)

② 満足度向上委員会

- ・ 入居様が楽しみを持った生活が送れる様、余暇時間の過ごし方の提案や家族・地域を交え地域貢献や施設への理解が得られる様視野を拡げた行事計画を作成します。
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します。
- ・ 行事を行なう際は計画・報告書を提出します。
- ・ 小規模の利点を活かし家庭での生活に近づけ、四季折々を感じられる生活が出来る様に取り組みます。(実施については全スタッフ協力して行ないます)
- ・ 居室担当と協力しドリームマイスターを実施します。

③研修担当

- ・ スタッフ研修会の年間計画を作成し実施します。
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します。
- ・ 研修実施時は、講師の依頼・参加者の把握・資料等のファイルを行ないます。

④身体拘束・虐待防止委員会

- ・ 職員のケア方法について改善点は無いか、常に気を配ります。
- ・ 年2回の職員研修を研修委員と共に行ないます。
- ・ 3ヶ月に1回委員会を開催します。
(対象者発生時には、臨時委員会を開催します)
- ・ 指針を整備し担当者を設置し虐待のない施設づくりに努めます。

⑥ブランド・SNS担当

- ・ ブログ Facebook Instagram に定期的にアップを行ないます。
(内容については、細心の注意をはらうとともに、介護の仕事の素晴らしさ、法人やたんぽぽの良い所が伝わる内容にします)
- ・ たんぽぽ通信の作成を年4回行います。
- ・ ライン登録されている家族様に定期的に入居者様の近況をご報告します

⑦感染症衛生管理委員会

- ・ BCPの作成、指針の整備やマニュアルの見直しを行ないます。
- ・ 年2回の研修、訓練(シュミレーション)を行ないます。
- ・ 流行時の一時的な感染予防に留まらず、年間を通し感染予防に繋がる対策の実行を継続出来る様にします。
- ・ 6ヶ月に1回以上委員会を開催します。

⑧非常災害対策担当

- ・ 年間防災計画の作成と訓練を実施します。
- ・ 定期点検と非常用品の管理を行ないます。
- ・ BCP作成、マニュアルの見直しを行ないます。
- ・ 6ヶ月に1度会議を行ないます。
- ・ 年2回訓練を行ないます。

(3) 職員研修

- ① 福祉職員としての専門性を自覚すると共に、求められる良質のサービス提供が出来る様計画に基づき学習の機会を設け基本的姿勢や技術・心構え等を学び成長できるようにします。
- ② 職員が勤務時間内に法人で行なわれる研修に参加できる機会を提供します。
- ③ 施設内研修では、感染症予防の観点から ZOOM や自宅学習など、幅広い研修方法を活用します。

令和4年度 グループホームたんぽぽ 研修・委員会計画

月	開催日	研修・訓練	委員会
4		職員の腰痛対策・リフレッシュ体操	
5		非常災害対策：自主火災訓練	身体拘・虐待防止委員会 感染症衛生管理委員会
6		感染症対策：研修・訓練（シュミレーション）	
7		ハラスメント	
8		身体拘束・虐待防止	身体拘・虐待防止委員会 非常災害対策担当
9		薬剤師さんのお話	
10		感染症対策：研修・訓練（シュミレーション）	
11		非常災害対策：救命訓練	身体拘・虐待防止委員会 感染症衛生管理委員会
12		看取りについて	
1		身体拘束・虐待防止	
2		BCPについて	身体拘・虐待防止委員会 非常災害対策担当
3		来期の取り組み	

* コロナ禍の状況により、講師依頼・お茶の水ケアサービスの動画を活用した自宅学習等検討していく